県立図書館通信

令和4年11月号
（令和4年 10 月末発行）

© 326

県立図書館の新刊図書の中から高校生にお薦めの本を紹介します☆

『孤立宇宙』

熊谷　達也/著
講談社/発行
資料コード　116408600

小惑星の衝突で地殻、気象ほかあらゆる環境が破壊され、生存の危機に陥った人類は、他の星への移住を目指すものと世界各地のシェルターで生き残りをはかるものとにわかれた。さらに、肉体のくびきから離れ、意識のサイバースペースへの移行が可能になった世界は、分断と孤立の中にあった。

『家裁調査官・庵原かのん』

乃南　アサ/著
新潮社/発行
資料コード　116408667

警察でも裁判官でもない私たちには「聴く」ことしかできないけれど――。家裁調査官は「臨床の専門家」として生身の人間を扱い、罪を犯した者たちと向き合うのが職務。少年係調査官として働くかのんは家庭や学校、友人との問題等で荒んだ少年少女たちの“声なき声”に今日も耳を傾ける。更生の可能性を信じて――。ひたむきな女性調査官が奔走する姿を描く連作短編シリーズ。

『嘘つきジェンガ』

辻村　深月/著
文藝春秋/発行
資料コード　116408725

まさか、こんな 2020 年の春が待っているとは思いもしなかった――大学進学のため山形から上京した「加賀耀太」だったが、４月７日、緊急事態宣言が発令されてしまう。入学式は延期され、授業やサークル活動どころか、バイトすら始められない。そのうえ、定食屋を営む実家の売り上げも下がって、今月の仕送りが半分になるという。地元の友人「甲斐斗」から連絡が来たのはそんなときだった。

『子供が王様』

デルフィーヌ・ド・ヴィガン/著
東京創元社/発行
資料コード　116408675

若い頃、テレビのリアリティ・ショーに夢中になったメラニーは、母となり、子供たちを YouTube で公開するようになり、何百万人もの視聴者を獲得する。しかし６歳になった娘が失踪。誘拐が疑われ、脅迫状も届く。金目当て？成功者への嫉妬？ベドフィル？彼女と同世代の警察官クララが事件を精査し始める。ネット社会に翻弄される人間たち、キッズインフルエンサーのその後の人生、実に考えさせられる問題作。タイトルは、母親の「うちでは子供が王様なんです」から。

■編集■　佐賀県立図書館　司書ネットワーク課　図書館・司書支援担当（0952-24-2900）
◎この通信は県立図書館の HP にも掲載しています。本の検索もできます。
☞https://www.tosyo-saga.jp/

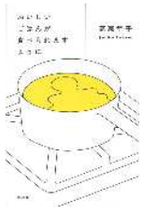
お問い合わせはこちらまで

最新の受賞作を紹介します！！

秋の夜長にゆっくり読書を楽しんでみませんか。

第 167 回芥川龍之介賞（芥川賞）

雑誌に発表された新進作家による純文学の中・短編作品のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞です。



『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬　隼子/著
講談社/発行
資料コード　116334459

「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができてがんばり屋の押尾。ままならない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。

第 167 回直木三十五賞（直木賞）

新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞です。

『夜に星を放つ』

窪　美澄/著
文藝春秋/発行
資料コード　116455189

コロナ禍のさなか、婚活アプリで出会った恋人との関係、30 歳を前に早世した双子の妹の彼氏との交流を通して、人が人と別れることの哀しみを描く「真夜中のアボカド」。学校でいじめを受けている女子中学生と亡くなった母親の幽霊との奇妙な同居生活を描く「真珠星スピカ」など、人の心の揺らぎが輝きを放つ五編。

☆2022 年本屋大賞

「本屋大賞」は、全国の書店員の投票だけで選ばれる賞です。

〈国内小説部門〉

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂　冬馬/著
早川書房/発行
資料コード 116275025

1942 年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、ドイツ軍の襲撃により突如奪われる。母を殺され、復讐を誓った彼女は、女性狙撃小隊の一員となりスターリングラードの前線へ――。第 11 回アガサ・クリスティー賞大賞受賞作。

〈翻訳小説部門〉

『三十の反撃』

ソン・ウォンピョン/著
祥伝社/発行
資料コード 116302795

1988 年ソウルオリンピックの年に生まれ、三十歳になった非正規社員のキム・ジヘ。88 年生まれに一番多い名前「ジヘ」と名付けられた彼女はその名の通り、平凡を絵に描いたような大人になっていく。大企業の正社員を目指すジヘの前に現れたのは、同じ年の同僚ギュオク。そして――。